

【担当教員名】 梶原洋生	対象学年	3・④	対象学科	社会(3年)	作業(4年)
	開講時期	後期	必修・選択	必修	選択
	単位数	2	時間数	30	

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

本講義では、社会保障の各論的な内容を中心に学習して、その理解を進める。社会保障の各制度（年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険など）について、習熟する。さらに、社会手当制度や民間保険制度などについて把握し、体系的に理解していく。ひいて、これらに通呈する構造的な課題を検討し、我が国の今後についても考察を深める。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 社会保障の制度設計における特色を理解する。
2. 各制度の仕組みを的確に把握する。
3. 社会保障の方法的視点を身につける。
4. 社会保障の各制度における現況を把握する。
5. 社会保障に関する分析から理論構成を行なう。
6. それらを通じて、福祉職に必要な事柄をさらに整理して理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	「社会保障論Ⅱ」への取り組み（受講上の留意点）		講義
2	社会保障論における「各論」の意味と位置づけ		講義
3	年金保険制度（1）		講義
4	年金保険制度（2）		講義
5	医療保険制度（1）		講義
6	医療保険制度（2）		講義
7	介護保険制度（1）		講義
8	介護保険制度（2）		講義
9	雇用保険制度（1）		講義
10	雇用保険制度（2）		講義
11	労働者災害補償保険制度（1）		講義
12	労働者災害補償保険制度（2）		講義
13	社会手当制度		講義
14	現代社会保障における「公」と「民」、そして専門職（まとめ）		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『はじめての社会保障』、椋野美智子・田中耕太郎、有斐閣アルマ、最新刊			
参考書	『新版 医療と福祉の法律学』、梶原洋生、インデックス出版、2002 その他、適宜紹介する。			
その他の資料	『介護の法律入門』、梶原洋生、インデックス出版、2006 その他、適宜紹介する。			
【評価方法】 出席点、平常点、試験点による。	【履修上の留意点】			